



若葉の候、地域の先生方にはますますご清栄のことと存じます。  
今月号は、形成外科部長藤田より下肢静脈瘤についてご紹介させていただきます。

## 下肢静脈瘤について

当院では、下肢静脈瘤に対する治療を積極的に施行しています。

現在は、2019年12月から保険収載となった血管内接着剤治療（血管内塞栓術）がメインとなっており、患者さまの病態に応じて従来からの治療法に比べ、より低侵襲の手術方法を選択して施行しております。

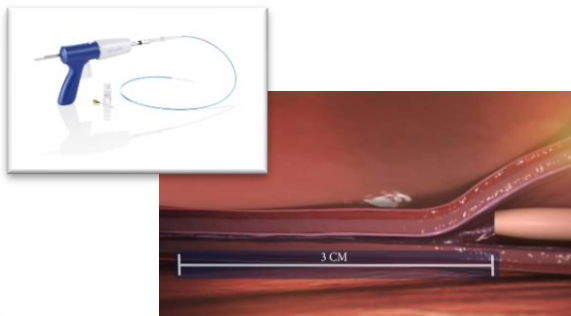
血管内塞栓術の適応がある患者さまには局所麻酔下での日帰り手術にも対応させていただいております。ただし、食物・薬剤アレルギーをお持ちの方など血管内塞栓術の適応外の方や、血管の走行によってカテーテル治療が困難な方などは従来通り入院で全身麻酔あるいは腰椎麻酔下の治療となる場合があります。

### 血管を接着材でふさぐ「血管内塞栓術」

2019年12月から保険収載となった、下肢静脈瘤の最新治療です。

従来の血管内焼灼術は、熱を発生するので火傷防止に麻酔液を血管外に注入しますが、血管内塞栓術は熱を発生しないので、その手技も不要となりました。また、熱による神経の損傷のリスクもないため、より低侵襲な治療法といえます。

血管内塞栓術は局所麻酔での日帰り手術も対応いたしております。



### ～下肢静脈瘤の症状～

下肢静脈瘤は40歳以上の女性に多く認められ、年齢とともに増加します。命にかかわる病気ではありませんが、放置しておいて自然に改善することはなく、時間の経過とともに徐々に悪化していきます。

下肢静脈瘤の症状経過を下記に記します。「足がむくむ、だるい」が発症のサインになることが多く、疼痛の訴えはないことが多いです。

重症化すると湿疹や脂肪皮膚硬化症などの「うっ滞性皮膚炎」を合併し、さらに悪化すると「色素沈着」「潰瘍」になってしまいます。

基本的に患者さまの訴えの強さと日常生活への支障の来す程度で患者さまと相談の上、手術の可否を決定します。



### 下肢静脈瘤の症状

- 足の血管が浮き出て見える
- ふくらはぎがだるい・重苦感
- 足のむくみ
- 足のこむら返り（つり）
- 足がほてる・熱く感じる
- 足のむずむず感・不快感
- 足のかゆみ・湿疹
- 足の色素沈着
- 足の潰瘍

徐々に悪化

診察から診断までの流れ

問診・視診

エコー検査  
CT検査

診断  
手術決定

自覚症状のほかに仕事の内容や生活習慣などをお聞きして、下肢静脈瘤によるものか、他の病気によるものかなどを見極めます。

また、患部をみて下肢静脈瘤の場所や膨らみ具合、むくみや皮膚の変色がないかなどの状態を確認いたします。

アレルギー歴や接着剤使用歴など、血管内塞栓術のリスク因子の有無も確認します。

足の静脈の状態を確認し、逆流があるかを検査、診断します。

また、深部静脈血栓など下肢静脈瘤の手術が受けられない状態でないかどうかも確認します。

手術適応がある場合には、CT検査を追加して静脈の走行を確認します。血管に蛇行がない場合にはカテーテル治療の適応となりますが、蛇行が強い場合には他の方法を選択することになります。

症状と検査結果を総合的に判断し、手術方法を決定します。手術方法によって麻酔方法や入院の可否もかわってきます。

下肢静脈瘤の症状に合致する方、下肢静脈瘤を指摘され症状を認めているが手術を悩んでいる方、下肢静脈瘤なのかどうか気になっておられる方などおられましたら、是非御紹介頂ければと思います。

当院は地域医療の拠点病院として、今後も地域医療に貢献していく所存です。何卒宜しくお願いします。



# Advance Care Planning (ACP)

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組みのことで（日本医師会HPから引用）

## あなたは、どのような医療を 希望しますか？

前のページのマンガのようなことはいつ起こるかわかりません。このガイドブックと記録シートを使って日ごろから考えたり、話しあっておきましょう。

1 考えてみましょう → 2 話しあってみましょう → 3 書いてみましょう

**あなたの医療に対する希望**

希望する医療、望まない医療はありますか？  
 希望したい場所はどこですか？  
 希望しない医療はありますか？  
 望まない医療はありますか？

医師者と話しあう  
 家族と話しあう  
 書いている場で話しあう

※あなたの考えや希望していることを伝えることが大切です。  
 ※気持ちが変わるときもありません。そのつど話しあってみましょう。

今は、決められない、わからない、ということがあっても結構です。そう思ったときは、あなたが今思っていることや気持ちが、かならずあなたに伝えるだけでも十分です。

認知症の人は、進行すると自分のことが自分でいなくなるので、早期からACPが必要です。

左の冊子は、一般の人が見てもわかりやすいので、ACPのときには是非ご活用ください。



認知症の受診や介護に関する相談、ACP等の活動しています。

担当：稲野聖子（老人看護専門看護師）

## 「がん地域連携パス」にご協力お願い致します

がん地域連携パスとは、がん診療連携拠点病院と地域のかかりつけ医の先生と役割分担を行い、安心・安全で質の高い医療を提供するため、診療方法を定めた治療計画のことで。

**がんの定期的検査や専門的ながん治療は市立池田病院で継続します**  
**ご協力いただける医療機関では、日常の診療（診察・採血）や処方をお願いします**

**パスの対象**

胃がん・大腸がん・乳がん

**診療報酬**

がん治療（手術後）後の状態が落ち着いた患者さま  
 連携医療機関は、計画策定病院へ診療情報を文書で提供した場合  
 がん診療連携指導料（300点）を月に1度算定できる

パスに関するお問い合わせ：地域医療連携室

今月一品

## 豚肉の柚子胡椒焼き

新玉ねぎは水分を多く含んでいるため、あまり日持ちしません。玉ねぎは冷蔵保存ですが、新玉ねぎは冷蔵庫に入れ、2~3日で食べきるようにしましょう。



### 《作り方》

- ① 豚肉に塩こしょう、小麦粉を振る。
- ② ①を油で炒め、火が通ったら新玉ねぎを加える。
- ③ 新玉ねぎがしんなりしたら☆を加え、軽くともみがつくまで炒める。
- ④ お好みで野菜を添えて、お皿に盛って完成。

材料  
(2人分)

豚ロース	150g
塩こしょう	少々
小麦粉	少々
油	少々
新玉ねぎ	1/2個(約150g)
☆醤油	大さじ1.5
☆みりん	大さじ2
☆酒	大さじ2
☆柚子胡椒	小さじ1

栄養管理科